

すみだ北斎美術館建設地にて埋蔵文化財発掘見学会が平成25年8月17日に開催されました。当日は猛暑の中、近隣住民の皆様はじめ考古学や文化財に興味をお持ちの方達が熱心に見学しました。すみだ北斎美術館は緑町公園テニスコート跡地に計画され、今年の秋からその工事が始まります。この地には江戸時代に弘前藩津軽家の大名屋敷があり、葛飾北斎も屋敷の屏風に馬の絵を描いたという伝えがあります。北斎とゆかりの深い土地でもあります。

発掘調査現場は約3mぐらいの深さまで掘られ、当時の給水管として使用された木樋や、土蔵跡の基礎や松杭、石組の下水跡等を見学できました。7月から始まった発掘調査は現状を調査し、写真や図面で記録に残すそうです。

平成27年にはすみだ北斎美術館が開館しますが、約200年前に葛飾北斎が絵を描いたこの場所で、北斎が残したたくさんの作品を見学できることになるわけです。その歴史を考えるだけでも気持ちがわくわくしてきます。

すみだ北斎美術館の開館を楽しみにしています。

(文責 岸 成行)



すみだ北斎美術館建設地

